

マテリアルライフ学会 「第33回研究発表会」発表募集

【会期】2022年7月21日(木)・22日(金) 【会場】タワーホール船堀小ホール

マテリアルライフ学会「第33回研究発表会」を2022年7月21日(木)・22日(金)にタワーホール船堀小ホールにて開催いたします。新型コロナウイルス感染症は変異株による再拡大など見通せない状況にありますが、密を避けるため大きな会場(定員260名)の使用や消毒やマスク着用など参加者の皆様に感染防止対策のご協力をいただきながら会場開催を予定しております。(ただし、本年6月中旬時点の感染状況によりオンラインに変更する可能性があります)研究発表は例年通りセッション制で行う口頭発表とポスターセッション(一日目午後)がございます。皆様のご発表をお待ちしております。本年度も技術交流会は開催いたしません。

研究発表会は、下記の要領で開催します。

日時：2022年7月21日(木)

10:00~11:00 総会・学会賞受賞式

11:00~12:00 令和4年度学会賞受賞講演

13:00~14:30 ポスター発表

14:30~16:30 研究発表

2022年7月22日(金)

9:30~16:30 研究発表・特別講演

会場：タワーホール船堀 小ホール(定員260名)

〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1

TEL:03-5676-2211(代)

主催：マテリアルライフ学会

協賛学協会(予定)：繊維学会、プラスチック成形加工学会、高分子学会、日本ゴム協会、色材協会、日本建築学会、日本化学会、日本分析化学会、日本信頼性学会、日本材料学会、文化財保存修復学会

1. 研究発表申込要領

(1) 募集件数：口頭発表30件、ポスター発表15件

【口頭発表】1件あたりの発表時間は質疑応答を含め15分(発表12分、質疑応答3分)

発表は原則としてパワーポイントスライドのプロジェクター投影

【ポスター発表】1日目13:00~14:20(80分)

A0版1枚またはA1版2枚のポスターによる発表

(2) 研究発表者または共同研究者のうち少なくとも1名は当学会正会員または学生会員であること

(3) 研究発表申込締切：2022年4月30日(土)

(4) 発表申込：ホームページの「発表申込フォーム」からお申し込みください

【申込先】マテリアルライフ学会

〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-12-16 創文印刷工業(株)内

TEL.03-3893-0111 FAX.03-3893-6611

E-mail: mls@kt.rim.or.jp

2. 研究発表申込みの受理と訂正・取消

(1) 研究発表申込の採否およびプログラム構成は、大会実行委員会にご一任下さい。

(2) 申込後の題目その他の変更は認めません。発表取消のある場合は、5月31日(火)までにFAXまたはE-mailにて理由を明記のうえ学会長宛てにご連絡下さい。

3. 予稿原稿執筆要領

(1) 原稿締切：2022年6月20日(月)厳守

(2) 原稿はそのまま予稿集の原稿とさせていただきます。

口頭発表：A4判、2または4頁

ポスター発表：A4判、1または2頁

上下・左右を各2cm空けて下さい。なお、1頁目最下行に発表者全員のローマ字表記をご記入下さい(例：Toshio OGAWA)。

4. 参加登録要領

(1) 研究発表会に参加ご希望の方は、次号掲載の参加申込書またはホームページからお申し込み下さい。(発表者も参加登録が必要です。)

(2) 参加登録料(予稿集1冊含む)は、下記の通りです。

<参加登録料>

種別		会員	非会員
正会員	事前登録	8,000円	10,000円
	当日登録	10,000円	15,000円
シニア会員		5,000円	
学生会員		2,500円	3,000円

(3) 事前登録の締切は、7月11日(月)(必着)です。これ以降のお申し込みは当日扱いとなります。

(4) 参加料は事前振込でお願いします。

当日参加の方は後日参加費をお振込みください。

5. 特別講演：1件(予定)

6. 奨励賞：優秀な口頭発表者には「研究奨励賞」、優秀なポスター発表者には「優秀ポスター賞」が授与されます。

【 発表募集分野の内容 】

- (1) 劣化モデル・寿命予測
材料/部品/製品などの寿命予測技術や事例に関する発表
- (2) 耐候性・耐熱性
耐候性試験及び耐候性材料, 熱劣化試験及び耐熱材料, 難燃試験及び難燃技術, 燃焼に関する発表
- (3) 劣化解析・分析
材料/部品/製品などの劣化挙動の解析事例および劣化分析法に関する発表
- (4) 添加剤
有機・無機を問わず, 材料および製品に耐久性や機能を付与するための添加剤・コーティング剤などに関する発表
- (5) エコマテリアル・リサイクル
エコマテリアル, サステナブル材料, リサイクル技術など環境に配慮した材料に関する発表
- (6) 表面・界面現象
表面から内部あるいは材料界面に関する諸性質に関する研究, およびそれらの解析方法に関する発表
- (7) 文化財
文化財の経年変化や劣化の評価技術, 劣化機構に関する研究, 文化財保護技術に関する研究
- (8) マイクロプラスチック
マイクロプラスチックに関する発表
- (9) その他
上記 (1) から (9) に分類されないマテリアルライフに関する発表

* 過去に同一または類似の研究発表が行われているものは採択されませんが, 既発表の研究内容を前進させたものは, この限りではありません。

* 発表内容が商業宣伝に著しく偏したものは採択されません。(商品名の使用は原則不可とする。)

【会場までのアクセス】

タワーホール船堀小ホール

